

# 【事業所職員向け】児童発達支援自己評価表

記載日：令和2年度

療育ルームオーロラ

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・体制整備	1	利用定員が支援スペース等との関係で適切あるか	○		・個室はないが、支援のスペースは保たれています。
	2	職員の配置数は適切であるか	○		・個別支援が基本で、1対1で行っています。
	3	支援空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	○		・玄関は二重ドアで交互に開閉するので、安全性は高いです。 ・また、設備は全てバリアフリー化がなされています。
	4	支援空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	○		・床暖房完備で、冬場も素足で快適に過ごすことが出来ます。
業務改善	5	業務改善を進めるための目標設定と振り返りに、広く職員が参画しているか	○		
	6	保護者向け評価表により保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し業務改善に繋げているか	○		・ホームページに挙げて保護者等の評価を見ることができるとともに、意向を反映するようにしています。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○		・ホームページ等で公開、また、県情報公開システムからも閲覧ができるようにしています。
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		○	
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○		・業務に支障がない限り、確保に努めています。
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	○		・適切に実施しています。
	11	子どもの適応行動の状況を、図るために、標準化されたアセスメントシートを使用しているか	○		
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	○		・ガイドラインに沿って実施しています。
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	○		・計画に沿って実施しています。
	14	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○		・行っています。

適切な支援の提供	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○		・ニーズや課題に合わせて工夫しています。
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせさせて児童発達支援計画を作成しているか	○		・個別支援とグループの支援を状況に応じて行っています
	17	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日に行われた支援の内容や役割分担について確認しているか	○		・簡単な打ち合わせや、当日の流れを確認しています。
	18	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日に行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○		・ニーズと活動での反応について振り返りを行っています。
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○		
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	○		・モニタリングを通して、計画の変更を随時行っています。
関係機関や保護者との連携	21	障がい児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○		・児童発達支援管理責任者が出席しています。
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	○		
	23	医ケアが必要な利用者の場合、地域の保健、医療障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	○		・医療ケアコーディネーターが実施しています。
	24	医ケアが必要な利用者の場合、子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	○		・整えています。
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○		・担当者会議などの多く情報共有、相互理解ができるように努めています。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校等との間で支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○		・積極的に実施しています。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障がい者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○		・保健センターの保健師や相談支援事業所の専門員と連携を取り、情報共有をしています。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		○	・利用児のほとんどが、園と並行利用のため、特に機会は設けておりません。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	○		・児童発達支援管理責任者が出席しています。

関係機関や保護者との連携	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解をもっているか	○		・療育終了後に時間を取り、その日の様子や、日頃の様子の伝え合いをするようにしています。
	31	保護者の対応力向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	○		・カウンセリングや相談支援を実施しています。
保護者への説明責任等	32	運営規定、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○		・契約時に説明をしています。
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	○		・本人のニーズ、保護者意向を支援の内容に入れた計画を作成し、同意を得て実施しています。
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○		・随時行っています。
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		○	・単位ごとの支援のため、設定はしていないが、同単位の保護者同士の関わりはあります。
	36	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の制度を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合には迅速かつ適切に対応しているか	○		・適切な対応を心がけています。
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○		・オーロラだよりを年5回発行しています。
	38	個人情報の取扱いに十分注意しているか	○		・プライバシーに関して十分に注意しています。
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○		
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		○	・交流事業等は実施していません。
	非常時の等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	○	
42		非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行ったか	○		・非常災害等の定期的訓練を実施しています。
43		事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	○		・契約時等に確認しています。

非常時の等の対応	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がなされているか		○	・食事提供は行っていません。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で研修会を確保しているか		○	・実施しています。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか		○	・年2回の研修を実施しています。
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか		○	・年2回の研修を実施しています。